

まちづくりの目標	2	みんなが安全で快適に暮らせるまち
政策	1	都市基盤を整備し、安全で安心して暮らせるまちにします
施策	6	安全な水を安定的に供給できるまちにします
		担当部(統括部) 水道部

【実現ステップ】

平成32年度に実現している姿						
災害時などでも安定して水道水が供給できています。						
	第3期実施計画期間				前期終了年度	後期終了年度
	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成32年度
目標	災害時、水供給ができる危機管理レベルが向上している	災害時、水供給ができる危機管理レベルが向上している	災害時、水供給ができる危機管理レベルが向上している	災害時、水供給ができる危機管理レベルが向上している	災害時でも水道水供給の安定性が高まっている	災害時でも水道水供給の安定性が高まっている
実績	目標の通りの姿を実現できた					
水道の送配水管の耐震化が進み、地震などに対する安全性が高まりつつあります。						
	第3期実施計画期間				前期終了年度	後期終了年度
	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成32年度
目標	老朽管の更新、施設等の耐震化の推進などにより、漏水水量が減少している	老朽管の更新、施設等の耐震化の推進などにより、漏水水量が減少している	老朽管の更新、施設等の耐震化の推進などにより、漏水水量が減少している	老朽管の更新、施設等の耐震化の推進などにより、漏水水量が減少している	送配水管等の耐震化が進み、地震などに対する安全性が高まっている	送配水管等の耐震化が進み、地震などに対する安全性が高まっている
実績	目標の姿の実現まで至っていない					
水道料金の値上げが抑制されています。						
	第3期実施計画期間				前期終了年度	後期終了年度
	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成32年度
目標	平成28・29年度の大規模施設改修に向けて、健全な経営が保たれている	平成28・29年度の大規模施設改修に向けて、健全な経営が保たれている	平成28・29年度の大規模施設改修に向けて、健全な経営が保たれている	平成28・29年度の大規模施設改修に向けて、健全な経営が保たれている	平成28・29年度の大規模施設改修に向けて、健全な経営が保たれている	収益的・資本的収支について、財政計画が見直され、健全な経営が保たれている
実績	目標の通りの姿を実現できた					

実現している姿を確認する指標											
		平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成32年度
自己水の割合	目標	—	—	—	—	31.0%	31.0%	31.0%	31.0%	32.0%	33.0%
	実績	30.3%	32.2%	32.1%	30.8%	29.7%					
管路の耐震化率	目標	—	—	—	—	19.0%	20.0%	21.0%	22.0%	23.0%	28.3%
	実績	15.6%	16.3%	17.0%	17.6%	18.2%					
料金単価(供給単価)	目標	—	—	—	—	200円/㎡	200円/㎡	200円/㎡	200円/㎡	200円/㎡	200円/㎡
	実績	212.16円/㎡	208.05円/㎡	204.40円/㎡	196.90円/㎡	193.41円/㎡					

【施策の展開】◎は重点的な取組み

○浄水・送水・配水施設の更新						平成25年度事業費計 328,568千円	
浄水施設や送水施設、配水管などを計画的に整備します。また、併せて各施設の耐震化も行います。							
平成25年度事業	施設改修事業167,737千円(浄水課) 配水管整備事業100,769千円・鉛管対策事業60,062千円(工務課)						
	第3期実施計画期間				前期終了年度	後期終了年度	
	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成32年度	
計画	太中浄水場3号井戸増強工事、混和池耐震診断			太中浄水場2号配水池耐震診断		太中浄水場排水処理施設更新	
取組実績	太中浄水場3号井戸増強工事により、井戸の取水量を回復させた。また、太中浄水場の混和池耐震診断を実施した。						
成果	自己水源の確保により浄水の安定性を高めることができた。また、混和地の耐震性があることを確認した。						
次年度課題	引き続き計画的に浄水場を整備し、浄水の安定性を高める。また、今後の施設についても耐震診断を実施し、災害に強く、安定して水道水を供給できる施設を作る。						

	第3期実施計画期間				前期終了年度	後期終了年度
	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成32年度
計画						太中浄水場1号、2号急速濾過地設備更新
取組実績						
成果						
次年度課題						
計画						太中浄水場電気計装設備更新
取組実績						
成果						
次年度課題						
計画	中央送水所ポンプ室第1期工事	中央送水所ポンプ室第2期工事	中央送水所ポンプ室第3期工事			
取組実績	中央送水所ポンプ室第1期工事(ポンプ室の計装設備等の更新)を計画通り実施した。					
成果	送水所を整備することにより、送水の安定性を高めることができた。					
次年度課題	引き続き計画的に送水所を整備し、送水の安定性を高める。					
計画	鳥飼送水所5号配水ポンプ整備	鳥飼送水所4号配水ポンプ整備	鳥飼送水所無停電電源装置及び蓄電池更新	鳥飼送水所1号配水ポンプ整備	鳥飼送水所6号配水ポンプ整備	
取組実績	鳥飼送水所5号配水ポンプ整備(ポンプの制御装置のオーバーホール)を計画通り実施した。					
成果	ポンプの整備により、送水の安定性を確保することができた。					
次年度課題	引き続き計画的に送水所を整備し、送水の安定性を高める。					
計画			鳥飼送水所4号配水池耐震診断	鳥飼送水所受変電設備更新	鳥飼送水所3号配水池耐震診断	
取組実績						
成果						
次年度課題						
計画		千里丘送水所配水池耐震診断			千里丘送水所配水ポンプ整備	千里丘送水所受変電設備及び監視制御設備更新
取組実績						
成果						
次年度課題						
計画	送配水管の耐震化整備、鉛管対策の推進	送配水管の耐震化整備、鉛管対策の推進	送配水管の耐震化整備、鉛管対策の推進	送配水管の耐震化整備、鉛管対策の推進	送配水管の耐震化整備、鉛管対策の推進	送配水管の耐震化整備
取組実績	老朽化した配水管を耐震管に更新した。また、鉛管使用世帯のビニール管への布設替えを実施した。					
成果	耐震管路延長を増加させることができた。また、鉛管を減少させることができた。					
次年度課題	引き続き計画的に耐震化を進め、配水の安全性・安定性を高め、また鉛管取替工事を実施し、給水の安全性・安定性を高める。					

○水質検査体制の強化						平成25年度事業費計
						31,889千円
安全な水道水を供給するため、費用対効果を勘案しながら水質検査体制を強化します。						
平成25年度事業	水質管理事業31,889千円(浄水課)					
			第3期実施計画期間		前期終了年度	後期終了年度
	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成32年度
計画	法令等の水質基準に基づく適正な水質管理の徹底	法令等の水質基準に基づく適正な水質管理の徹底	法令等の水質基準に基づく適正な水質管理の徹底	法令等の水質基準に基づく適正な水質管理の徹底	法令等の水質基準に基づく適正な水質管理の徹底	法令等の水質基準に基づく適正な水質管理の徹底
取組実績	法令に基づく水質基準50項目以外にも放射能、農薬、ダイオキシン類等の水質検査を行った。					
成果	企業団に基準外項目の検査を依頼することにより、安全性を高めることができた。					
次年度課題	安価に検査が可能な項目については検査機器の更新等により摂津市水道部で対応し、機器が高額、あるいは検査が難しい項目については企業団等に依頼することにより対応していく。					
計画	大阪広域企業団等の水質検査との連携の強化	大阪広域企業団等の水質検査との連携の強化	大阪広域企業団等の水質検査との連携の強化	大阪広域企業団等の水質検査との連携の強化	大阪広域企業団等の水質検査との連携の強化	大阪広域企業団等の水質検査との連携の強化
取組実績	放射能の測定など高度な分析を企業団等と連携して実施した。					
成果	企業団等との連携により、お客様からの問い合わせに対する対応が的確になり、安心感を高めることができた。					
次年度課題	引き続き企業団等との連携により、よりの確に対応できるようにしていく。					
計画	水質情報の市民への広報・ホームページによる情報公開	水質情報の市民への広報・ホームページによる情報公開	水質情報の市民への広報・ホームページによる情報公開	水質情報の市民への広報・ホームページによる情報公開	水質情報の市民への広報・ホームページによる情報公開	水質情報の市民への広報・ホームページによる情報公開
取組実績	ホームページに毎月水質検査結果の情報公開を行った。					
成果	市内の水系別による水質検査結果を公開することにより、安全性をアピールできた。					
次年度課題	より迅速に情報公開ができるよう努力していく。					

○水道水を大切に作る社会の形成						平成25年度事業費計
						—
限りある水道水を大切に使用する社会の形成に向け、水道週間などを利用して市民への情報提供を行います。						
平成25年度事業	水道水啓発事業0円(総務課)					
			第3期実施計画期間		前期終了年度	後期終了年度
	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成32年度
計画	水の大切さや地下の水源活用をホームページ等でアピール	水の大切さや地下の水源活用をホームページ等でアピール	水の大切さや地下の水源活用をホームページ等でアピール	水の大切さや地下の水源活用をホームページ等でアピール	水の大切さや地下の水源活用をホームページ等でアピール	水の大切さや地下の水源活用をホームページ等でアピール
取組実績	ホームページ等で広報活動を実施した。また施設見学等の機会にパンフレットを配付した。					
成果	水の大切さや地下の水源活用を一定周知できた。					
次年度課題	引き続きホームページの内容を充実させていく。					

	第3期実施計画期間				前期終了年度	後期終了年度
	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成32年度
計画	水づくりについて、太中浄水場での施設見学を促進	水づくりについて、太中浄水場での施設見学を促進	水づくりについて、太中浄水場での施設見学を促進	水づくりについて、太中浄水場での施設見学を促進	水づくりについて、太中浄水場での施設見学を促進	水づくりについて、太中浄水場での施設見学を促進
取組実績	施設見学に市内の小中学校、自治会、他市水道事業所、パンダパーク市からの見学を受け入れた。					
成果	太中浄水場の地下水の特徴や水道水の大切さをアピールできた。					
次年度課題	見学者への説明をより分かりやすくするため、内容を工夫していく。					

○水道事業の効率的な運営	平成25年度事業費計 4,779千円
--------------	-----------------------

業務の効率化などにより各種経費の抑制を図るとともに、的確な使用水量の把握と給水収益の確保に努め、水道事業の経営健全性を確保します。また、職員研修を充実し、水道事業に関する知識や技術・技能の伝承と向上を図ります。

平成25年度事業	水道料金等収納事業4,779千円(営業課) 起債事業0円(総務課)
----------	--------------------------------------

	第3期実施計画期間				前期終了年度	後期終了年度
	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成32年度
計画	口座振替登録ページ準備による料金支払方法の拡充	口座振替登録ページ開始による料金支払方法の実施	料金支払方法の拡充、収納向上による給水収益の確保	料金支払方法の拡充、収納向上による給水収益の確保	料金支払方法の拡充、収納向上による給水収益の確保	料金支払方法の拡充、収納向上による給水収益の確保
取組実績	10月よりページ口座振替サービスを実施した。(平成23年度実績192件)					
成果	金融機関の窓口で長時間待たされることなく、料金の支払いと同時に口座振替の手続きができる等お客様の利便性が向上した。					
次年度課題	実績を増やし、更なるお客様の利便性の向上を図る。					
計画	アセットマネジメントによる資産活用の検討	アセットマネジメントによる資産活用の検討	アセットマネジメント活用による施設等の長寿命化の検討	アセットマネジメント活用による施設等の長寿命化の検討	アセットマネジメント活用による施設等の長寿命化の検討	アセットマネジメント活用による施設等の長寿命化の検討
取組実績	平成22年度に実施したアセットマネジメント導入基礎調査結果を用いて資産管理を行い、それを踏まえた水道施設の更新需要を把握した。					
成果	摂津水道部が抱える施設更新、それに伴う財政収支の見直しを検討する材料となった。					
次年度課題	水安全計画や水道事業基本計画を策定するため、引き続き結果分析を行う。					
計画	広域、他市研修等の活用による技術・事務資格の取得	広域、他市研修等の活用による技術・事務資格の取得	広域、他市研修等の活用による技術・事務資格の取得	広域、他市研修等の活用による技術・事務資格の取得	広域、他市研修等の活用による技術・事務資格の取得	広域、他市研修等の活用による技術・事務資格の取得
取組実績	大阪広域水道企業団や日本水道協会主催の研修等を受講した。					
成果	新制度に関する情報や近隣市町の情報収集が図られた。また、実務で必要な知識の習得ができた。					
次年度課題	引き続き、水道事業に関する知識や技能の向上を図るよう、積極的に研修等に参加する。					

○機構改革と広域化の推進						平成25年度事業費計 62,075千円
水道事業の効率化や危機管理の強化などを図るため、機構改革を検討します。また、水道事業の広域化についても情報収集などを図ります。						
平成25年度事業	地方公営企業会計事業31,907千円・貯蔵品管理事業30,168千円(総務課)					
	第3期実施計画期間				前期終了年度	後期終了年度
	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成32年度
計画	新企業会計の人材育成、危機に備えて災害訓練参加	新企業会計の人材育成、危機に備えて災害訓練参加	新企業会計の人材育成、危機に備えて災害訓練参加	新企業会計の人材育成、危機に備えて災害訓練参加	新企業会計の人材育成、危機に備えて災害訓練参加	新企業会計の人材育成、危機に備えて災害訓練参加
取組実績	日本水道協会や民間団体が開催する新会計制度の研修会に参加した。また、大阪広域水道企業団・北大阪上水道協議会共催のあんしん給水栓(企業団水道の配水管に設置された取水口。災害時はそこに給水栓を接続することにより住民に飲用水を供給することができる)の使用方法の訓練等に参加した。					
成果	新会計制度実施に向けての情報を収集した。事務職員も参加することにより、あんしん給水栓の操作技術の習得ができた。					
次年度課題	平成26年度4月実施の公営企業会計制度改正に向け引き続き研修に参加し、情報収集する。また、あんしん給水栓の訓練は継続的に参加していく。					
計画	大阪広域水道企業団において、送配水管の共同調達の検討	大阪広域水道企業団において、送配水管の共同調達の検討	大阪広域水道企業団において、送配水管の共同調達の検討	大阪広域水道企業団において、送配水管の共同調達の検討	大阪広域水道企業団において、送配水管の共同調達の検討	大阪広域水道企業団において、送配水管の共同調達の検討
取組実績	大阪広域水道企業団のワーキンググループで検討を行った。					
成果	検討の結果、各市使用している材料に大きな違いがあることが分かった。					
次年度課題	材料の統一は難しい状況ではあるが、少しでも共通の部分で共同購入によるメリットを出すことができないか引き続き議論を深めていく。					

### 【摂津市の特色や魅力のある取組みとして進めていくこと】

自己水による安定的な水道水の供給						平成25年度事業費計 221,630千円
地下水を汲み上げてつくる自己水を大切にすることにより、湯水などの災害時にも安定的に水道水を供給します。						
平成25年度事業	太中浄水場管理運営事業221,630千円(浄水課)					
	第3期実施計画期間				前期終了年度	後期終了年度
	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成32年度
計画	災害時に活用できるよう、自己水比率3割超で安定供給	災害時に活用できるよう、自己水比率3割超で安定供給	災害時に活用できるよう、自己水比率3割超で安定供給	災害時に活用できるよう、自己水比率3割超で安定供給	災害時に活用できるよう、自己水比率3割超で安定供給	災害時に活用できるよう、自己水比率3割超で安定供給
取組実績	井戸の増強工事により取水量を確保できたため、おおむね目標の通りの数値を実現できた。					
成果	淀川から取水している企業団の水は淀川が病原菌や化学物質で汚染されてしまうと供給できなくなってしまう。そこで井戸からの自己水で一定割合を供給することにより安定的に水道水を供給できた。					
次年度課題	企業団からの受水は年間の受水量を先に決める責任水量制が取られている。その受水量を企業団との交渉により減量して行く必要がある。					